

2020年10月28日

各位

会社名 株式会社アドバネクス

代表者名 代表取締役社長 加藤 精也
(コード番号 5998 東証第1部)

問合せ先 管理本部長 吉原 哲也
(TEL. 03-3822-5865)

HEATNEX® (ヒートネクス) 新製品「HBL15-R200」発売のお知らせ

当社は、HEATNEX®の新製品「HBL15-R200」の販売を11月1日より開始します。HEATNEX®とは当社が販売するカーボンナノチューブ(CNT)を使用した面状発熱体製品のブランド名であり、当社の商標として登録されています。「HBL15-R200」はカーボンナノチューブをフィルムに塗工した面状発熱素材をロール状に巻いたものです。「HBL15-R200」を皮切りに今後も新製品を発売し、HEATNEX®製品のラインナップを充実させていく計画です。

1. 製品名

HEATNEX®「HBL15-R200」



2. 製品概要

カーボンナノチューブが均一に塗工されている幅30センチ、長さ200メートルの面状発熱素材をロール状に巻いたシート材です。「HBL15-R200」を任意のサイズに切り出し、適切に配された電極から通電させることで全面が均一に発熱します。カーボンナノチューブの特長を活かした高性能なヒーター素材であることから、自動車、航空宇宙、医療、農業、住設、公共インフラ、各種工業製品など幅広い分野に適用が可能です。

3. 製品の特長

① 面状に均一発熱

従来形式の金属系ヒーターでは発熱素材が配置されている個所だけが発熱するなどムラがありますが、HEATNEX®「HBL15-R200」は全面が均一に発熱します。

② フレキシブル性

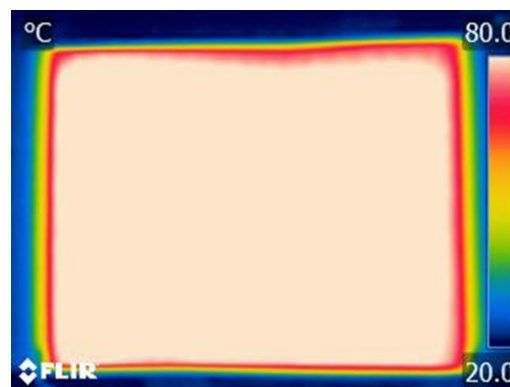
基材がPETフィルムであることから屈曲性に富んでいます。

③ 軽薄

カーボンナノチューブの発熱層は0.1mmのPETフィルム表面に薄膜塗工されております。また、HEATNEX®を使用し面状発熱体を作成した場合、重量はPETフィルムと塗工

されたカーボンナノチューブ、電極、絶縁層（保護層）のみなので、金属系ヒーターと比べ極めて軽量です。

- ④ 低消費電力
面状発熱の伝熱と遠赤外線放射熱により金属系ヒーターと比べ約 20%低い消費電力です。（当社調査による）
- ⑤ 遠赤外線放射率
低温域から遠赤外線を放射します。放射率は 50℃環境下、波長 5~20nm の範囲では金属系ヒーターより 4~5 倍程度放射します。黒体の約 90%程度です。（当社調査による）
- ⑥ 発熱応答性が良い
HEATNEX®「HBL15-R200」は熱容量が小さく、熱伝導性、熱放射性が高い為瞬時に発熱する一方、瞬時に冷却します。



4. 製品仕様

- ・製品名 : HEATNEX® (CNT 面状発熱素材)
- ・品番 : HBL15-R200
- ・仕様
 - 外形 : 30cm×2,000cm *ロール状
 - 素材 : 発熱体 カーボンナノチューブ、樹脂混合物
基材 PET フィルム
 - 表面抵抗率 : 150Ω/sq
 - 耐熱温度 : 100℃ MAX

5. 発売日・価格

2020年11月1日
価格：オープン価格

6. 想定市場

自動車・宇宙航空機、医療機器、農業資材、各種産業機器市場などの軽薄均一発熱用途への熱源供給

7. 詳細問い合わせ先

mail: support@advanex.co.jp
TEL : 048-430-2350 (株式会社アドバネクス CNT 事業部)